

南門

南門は、二層建てで、高さ 12 メートルあり、日大社の本殿への正門として使われています。

南門が建設される前は、本殿の西側にある御蓋山を正面に臨んで参拝する慶賀門が正門でしたが、新たに、身分の高い人々を迎えるために南門を造ったといわれています。現在は誰でも、この 2 つの門を通して参拝ができます。

毎年行われる春日祭では、天皇の使いである勅使が、藤原家の系統である場合は慶賀門から入ります。それ以外の場合はこの南門から入るといふきりがあります。